

【JPrOS 通信 No.286】 2018.01.04 国際公開シンポジウム開催のご案内

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 286 号 ★★★

2018.01.04

-----  
【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局([info@jhupo.org](mailto:info@jhupo.org))をお願いいたします。  
-----

■■■ 国際公開シンポジウム開催のご案内 ■■■

日本プロテオーム学会員の皆様

明けましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

さて、この度、横浜市立大学の木村弥生先生からシンポジウム開催(平成 30 年 1 月 24 日開催)に関するご連絡が届きましたので以下にご案内申し上げます。

日本プロテオーム学会事務局

-----  
【シンポジウム概要】

- 日時:平成 30 年 1 月 24 日(水)10:00~17:30
- 会場:パシフィコ横浜(会議センター301 及び 302)
- 参加費:無料(懇親会参加の方は 3000 円を当日受付にてお支払いください)
- 参加申込:下記ホームページよりお申込みください。

<http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~kyotenpr/news/event/3993>

【シンポジウムプログラム(敬称略)】

《ポスター発表》

【10:00~】10 年間のプロジェクト成果発表

《ご挨拶》

【11:00-11:07】渡辺 巧教(横浜市副市長)

【11:07-11:20】窪田 吉信(横浜市立大学 学長)

【11:20-11:25】伊藤 洋一(文部科学省 文部科学審議官)

【11:25-11:45】相澤 益男(科学技術振興機構顧問・運営統括、東京工業大学名誉教授・元学長、元総合科学技術会議議員)

《特別講演》

(座長) 大野茂男 (横浜市立大学)

【11:50-12:40】 大隅 良典 (2016年ノーベル生理学・医学賞受賞者、東京工業大学)

「私のオートファジー研究 –時代の進歩に支えられて–」

《新研究拠点での産学連携》

(座長) 吉松 賢太郎 (エーザイ株式会社)

【13:55-14:10】 大野 茂男 (拠点長、横浜市立大学)

「新研究拠点の概要」

【14:10-14:30】 高橋 琢哉 (横浜市立大学)

「トレーニング依存的に作用する脳卒中後のリハビリテーション効果促進薬の開発」

【14:30-14:50】 平野 久 (研究統括、横浜市立大学)・林 俊典 (東ソー株式会社)

「診断薬開発研究の新展開」

《新研究拠点から発展した新しい研究領域》

(座長) 五嶋 良郎 (横浜市立大学)

【14:55-15:15】 谷口 英樹 (横浜市立大学)

「ヒューマン・オルガノイド研究の新展開」

【15:15-15:35】 松本 直通 (横浜市立大学)

「タンパク質翻訳後修飾拠点におけるゲノム解析研究」

《特別講演:診断、治療、予防医学の新しい技術》

(座長) 山本 格 (新潟大学)

【15:50-16:35】 Mathias Uhlen (Royal Institute of Technology, Sweden)

「The Human Protein Atlas –Implications for Human Biology, Drug Development and Precision Medicine」

(English)

【16:35-17:15】 Young-Ki Paik (Yonsei University, Korea)

「Human Proteome Project and Its Application to Clinical Medicine」(English)

《閉会》

【17:15~】 二見 良之 (横浜市立大学 理事長)

《懇親会》

【~19:00】 終了後、6階のベイブリッジカフェテリアにて開催(会費制)